

- コース距離：14.5km
- 歩行時間：4時間

- 1 JR御茶ノ水駅  
↓1.9km
- 2 樋口一葉旧居跡  
(一葉の井戸)  
↓1.2km
- 3 東大赤門  
↓0.9km
- 4 東大農学部  
↓1.5km
- 5 根津神社  
↓2.3km
- 6 吉祥寺  
↓0.3km
- 7 南谷寺(目赤不動)  
↓1.0km
- 8 八百屋お七の墓  
↓0.5km
- 9 大円寺(ほうろく地蔵)  
↓1.8km
- 10 谷中銀座  
↓1.7km
- 11 谷中霊園(徳川慶喜の墓)  
↓1.4km
- 12 JR日暮里駅



### 11 谷中霊園(徳川慶喜の墓)

今は都立霊園となっている谷中霊園はかつては感応寺(現・天王寺)の寺域の一部だった。江戸時代には感応寺で富くじも行われた。谷中霊園には天王寺や寛永寺の墓地も含まれ、徳川慶喜などの徳川氏の墓は寛永寺墓地に属する。中央園路は「さくら通り」とも呼ばれ、桜の開花時には多くの人を集める。

### 10 谷中銀座

個人商店を中心にさまざまな業種約70店舗が立ち並ぶ商店街。谷中、根津、千駄木のいわゆる「谷根千(やねせん)」を代表する観光地として多くの人を集めている。いろいろなお店を巡っての食べ歩きも楽しい。商店街から谷中墓地方面に向かう坂道に造られた階段「夕焼けだんだん」は夕日の名所としても有名。



# Walking Course



### 12 JR日暮里駅

JR、京成電鉄、日暮里・舎人ライナーの3社のホームを持つ。1日の乗降客は約10万人。駅東口付近のバスターミナルには太田道灌の騎馬姿の銅像がある。

# 快汗ウォーキングコース

## お茶の水から本郷界隈、根津神社、吉祥寺、目赤不動、八百屋お七の墓を経て谷中銀座、谷中霊園をめぐる半日コース



### 1 JR御茶ノ水駅

わが国最大の学生街である御茶ノ水。多くの学校や病院、宗教施設が集まっている。JR御茶ノ水駅は1日に約10万人が乗降している。

### 2 樋口一葉旧居跡(一葉の井戸)

明治を代表する文学者樋口一葉は24歳という若さで亡くなるまで12回もの引越しをしたが、明治23年本郷菊坂に転居した。旧居のすぐそばに彼女が当時使っていたといわれる井戸が今も残っている。旧居跡へは看板もなく、道が入りこんでわかりにくいので地元の人に場所を聞きながら探るのがおすすめ。

### 3 東大赤門

東大の代名詞ともなっている本郷通りに面した門。加賀前田家上屋敷の御守殿門で、1827年に12代藩主の前田斉泰が11代将軍徳川家斉の娘溶姫を迎える際に造られた。国の重要文化財となっている。



### 9 大円寺(ほうろく地蔵)

慶長2年(1597年)開創された曹洞宗の寺院。山門を入ったところに「ほうろく地蔵」が安置されている。焙烙を備え祈願すると願い事がかなうといわれる。焙烙は俸禄にも通じることからサラリーマンの参拝者も多い。



### 8 円乗寺(八百屋お七の墓)

お七の生家は駒込片町の大きな八百屋だった。天和の大火(1683年)でお七の家が焼けて菩提寺の円乗寺に避難した。そのときに寺の小姓であった佐兵衛と恋仲になった。やがて家は再建され、自家に戻るがお七は佐兵衛と会いたい一心でつけ火をした。放火の大罪でとらえられたお七は火あぶりの刑に処せられた。数えて16歳のときであった。3基ある墓石のうち中央は寺の住職が供養のために、向かって右側は寛政年間に歌舞伎役者の岩井半四郎がお七を演じ好評だったときに、向かって左側は近所の有志によって270回忌の際に建てられた。



### 6 吉祥寺

吉祥寺と聞くとほとんどの人が武蔵野市の吉祥寺を思うかもしれないが、実はこちらが本家本元。今の武蔵野市吉祥寺通りに寺の隠居所と寺鐘があり、周辺の住民が田畑の開墾を進め「吉祥寺新田」と呼ばれた。寺はもともとJR水道橋付近にあったが明暦の大火(1657年)で焼失し、この地に移転された。

### 5 根津神社

日本武尊(やまとたけるのみこと)が1900年前に創祀したといわれる古社で東京十社の一つ。根津権現とも呼ばれる。現在の社殿は5代将軍徳川綱吉により創建されたもので、「天下普請」と言われる大工事が行われた。根津神社の例大祭は天下祭(江戸の代表的な祭礼)の一つに数えられている。



### 4 上野博士とハチ公の銅像(東大農学部構内)

大正13年1月東大農学部教授であった上野英三博士のもとに生後50日秋田犬ハチが来た。子供のいなかった博士は体の弱かったハチをわが子のように可愛がり、いつも駒場の大学や渋谷駅まで送り迎えをさせていたが、翌年5月に博士は大学内で急逝した。以後ハチは死ぬまでの10年間、渋谷駅に通い、改札口から出てくる博士の姿を待ち続けた。渋谷駅前のハチ公像が有名だが、平成27年3月、東大農学部構内にも上野教授とハチ公の銅像が建てられた。



### 7 南谷寺(目赤不動)

比叡山の南谷にいた万行律師によって元和2年(1616年)に創立された。境内の不動堂に安置されている不動明王は目赤不動と呼ばれ、江戸五色不動の一つとして知られる。目赤不動は人々からの信仰が篤く、多くの参拝者を集めている。

